

「角田市国土強靱化地域計画（案）」についての意見及び市の考え方等

No.	事項	「角田市国土強靱化地域計画（案）」に関する意見	市の考え方等
1	全般的事項	<p>角田市第6次総合計画の施策の一つであります、「災害に強い防災体制の整備」に対して、市民からは重要であるが、心配、不安から満足していないと言う、市民の意識調査（アンケート）にも顕著に表れております。</p> <p>令和元年の東日本台風（台風19号）の被害に遭い、体験したことが、このアンケートに反映したと思われませんが、今、異常災害が世界、国内問わず、発生している現状を見ても、いつ大きな災害が来ても、おかしくないと思っのアンケート結果だと思います。</p> <p>地震、火災（林野火災含む）、火山も自然災害ですが、やはり角田市は昔から水害に泣かされておりますので、治水対策に一番力を入れて取り組む必要があると思います。</p> <p>災害発生前に最悪の事態を防ぐための目的で「国土強靱化地域計画」を策定するとのこと、即ち人命を一番に考え、それから生活・経済活動に必要な物資の供給、インフラの復旧等になっていくと思います。</p> <p>命を守るため＝安心・安全な災害に強い、特に水に強い市にしたい。市で示した計画（案）のとおり実効性のあるものにしていただければ幸いです。</p> <p>国、県からの指示だからと、ただ策定しただけで実効性が無ければダメです。本計画の対象期間は5年となっておりますが、先の東日本台風の様な、いやそれ以上の台風がやって来てもおかしくない時代になってきていると専門家の方は言っております。</p> <p>実効性については、国からの財政補助が不可欠なことは分かりますが、事は一刻の猶予もありませんので、角田市を強靱な国土にさせていただくことを切に望みます。</p> <p>本計画書（案）の内容については、素晴らしい計画書ですので、必ず実行してください。</p>	<p>角田市第6次長期総合計画の策定に係る取り組みとして実施した市民意識調査（アンケート）の結果において、「災害に強い防災体制の整備」に対する市民の皆様の見解は「重要」かつ「不満」というものであり、令和元年東日本台風の被災経験を踏まえた結果であると認識しております。</p> <p>この状況を踏まえ、本市では「防災・減災、国土強靱化のための緊急対策」に取り組み、本市が行うべき防災・減災、国土強靱化に資する施策（ソフト・ハード）を体系的にとりまとめ、角田市国土強靱化地域計画を策定し、取り組むべき事業に優先順位を付け、ハード事業実施のための財源確保を目的とした「角田市公共施設強靱化対策基金」の設置を行い、今後の財政計画に反映させた上で、計画的に防災・減災、国土強靱化の取組を推進していくこととしております。</p> <p>その取組の一環として、国土強靱化地域計画を策定いたしますが、この計画に位置付けられている内容を実現することで、これまで経験した災害等への対応が一定程度可能になるものと考えております。</p> <p>また、近年では、想定外の規模の災害が頻発しているため、本計画においても想定外の規模の災害が発生した場合は、本市の脆弱性を改めて評価し直し、その都度、計画の見直しを実施していく必要があると考えております。</p> <p>ご指摘の通り、国土強靱化に関する事業の実施には多額の費用を伴うため、計画的に進めることが重要であると考えております。今後策定する角田市第6次長期総合計画においても、その内容を反映させ、市の重要施策として実施してまいりたいと考えております。</p>